



### 芋切り干し作りを体験する

御前崎小学校の2年生28人が12月7日、学校農園で育てたサツマイモで芋切り干し作りをしました。

体験には民生委員や地域住民が協力。児童は道具の使い方を教えてもらいながら蒸かしたサツマイモの皮をむき、スライス。切ったサツマイモをすだれに並べました。松下凌久さん(上岬区)は「初めて芋切り干しを作って楽しかったです。完成が楽しみ」と話しました。

◀「ペンペン」でサツマイモをスライスする児童

### 松下さよさん100歳の祝い

12月7日に100歳の誕生日を迎えた松下さよさん(上比木)に、市から祝い状や花束が贈られました。

70歳ころまで夫の重司さんとイチゴの栽培をしていたさよさん。老人会活動やグラウンドゴルフ、輪投げなどが楽しみだったといいます。さよさんは「子や孫、ひ孫に恵まれた人生でした。これからも一日一日を楽しく過ごしていきたい」と笑顔を見せました。

◀100歳のお祝いには孫の悠さんが駆けつけました



### 浜岡東小学校が統合50年

佐倉小学校と比木小学校が統合して50年の節目を迎えた浜岡東小学校で12月8日、記念式典が開催されました。

式典では、児童による50年前の遊びを再現した劇を披露。また、声楽家・伊達伸子さん(上比木)によるステージのあとは、一緒に校歌を合唱し、大盛り上がりでした。

◀音楽を通じて児童と楽しく交流する伸子さん

### 夜の灯台で非日常の景色を

5月1日に150周年を迎える御前崎灯台で12月9日、夕暮れ参観が開催されました。

灯台前広場ウミエールでは温かい飲み物や軽食を販売。普段登ることのできない夜の灯台へ登ろうと、約500人が来場しました。伊藤向春さん(塩原)は「先日、学校の行事で昼に来たけど、夜の灯台はまた違った雰囲気でした」と話しました。

◀ライトアップされ普段と違う趣の御前崎灯台



### ジュビロ磐田がJ1昇格報告

2022年以来2季ぶりにサッカーJリーグ1部への昇格を決めた「ジュビロ磐田」が12月11日、柳澤市長に2023シーズン終了を報告しました。

今季7得点の活躍を見せ、来期からベルギーリーグへ挑戦する後藤啓介選手は、「海外で成長して、お世話になったジュビロ磐田や地元へ恩返しをしたい」と話しました。

◀来庁した後藤選手と浜浦幸光代表取締役社長

### 園児がみかんの収穫を体験

御前崎こども園の年長児と年中児45人が12月14日、みかん狩りを楽しみました。

みかん畑を所有する旭商事株式会社が園児にみかんの収穫や味覚を楽しんでもらいたいと、毎年市内の幼稚園、保育園、こども園を招待しています。園児は「木から収穫するのが楽しい。食べるのが楽しみ」と喜んでいました。

◀大きなミカンを見つけ、優しく収穫する園児



### あま〜い焼き芋を楽しんで

池新田幼稚園の園児80人が12月14日、浜岡地区の民生委員11人の協力のもと、焼きたてのサツマイモを頬張りました。

昨年10月に園庭で育てたサツマイモを収穫。この日を楽しみに過ごしてきた園児は、「甘くておいしい!」、「もっと食べたい!」と口々に話し、笑顔を見せました。

◀ホクホク甘い焼き芋を頬張る園児

### 好きな香りをブレンドする

市生涯学習講座の「バラエティ講座」のひとつでハンドバームを作る講座が12月16日、白羽地区センターで開催されました。

講師は白羽地区にあるアロマセラピーサロンmiexの久保山光代代表。9人の参加者は好きな香りのアロマオイルをブレンドし、オリジナルのハンドバーム作りに没頭しました。

◀完成した香りを確かめ合う参加者

